



TITLE:

2001年度基研研究会報告「Women in Physics準備調査研究」

AUTHOR(S):

CITATION:

2001年度基研研究会報告「Women in Physics準備調査研究」. 物性研究 2003, 80(5): 701-702

ISSUE DATE:

2003-08-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/97588>

RIGHT:

(YITP-W-01-07)

2001 年度 基研 研究会報告

「Women in Physics 準備調査研究」*)

女性物理学者の実態調査研究に関する研究会が、今回初めて基研で認められた。この研究会は物理の純粋な学問内容とは直接関係ないが、研究の結果として、研究体制の在り方や研究の活性化のための貴重な資料を提供するというのがその提案理由である。

研究会は、2001 年 12 月 23 日, 24 日の二日間にわたって基研で開催された。1 日目の前半は、物理学会で行われた「日本物理学会会員の状況に関するアンケート」¹⁾調査のプレリミナリーな解析結果の報告、後半は国内外の女性研究者の状況が報告された。2 日目は、女性物理学者が科学に加わることの意義や、人事方式に関する提案、今までの研究紹介等がなされ活発に議論が展開された。参加者は 50 人を超え、女性に限らず多数の男性の参加も得られ、意義深い研究会となった。以下に、プログラムおよび講演要旨を掲載する。話題を提供してくださった講演者の方々、活発な議論を展開してくださった参加者の方々に深く感謝申し上げます。

研究会世話人:

浅川 恵理(KEK)、伊藤 厚子(理研)、大塚 孝治(東大理)、加賀山 朋子(熊本大学工)、
北原 和夫(国際基督教大学教養学部)、登谷 美穂子(京大理)、鳥養 映子(山梨大工)、
野尻 美保子(基研)、野村 和泉(核融合研)、初田 真知子(KEK)、坂東 昌子(愛知大法)、
福山 秀敏(物性研)、藤田 裕子(墓研)、八木 江里(東洋大経済)、米沢 富美子(慶応大理工)

「Women in Physics 準備調査研究」²⁾プログラム

2001 年 12 月 23 日(日)13 時開始

13:00_17:10

物理学会アンケート分析(preliminary)報告

フェイスシート…加賀山 朋子(熊本大工)(40 分)

業績等・・・延与 佳子(KEK)(40 分)

家庭等・・・野村 和泉(核融合研)(40 分)

15:30 - 16:00…休憩

男女共同参画等・・・烏養 映子(山梨大工)(40分)

自由記述・・・伊藤 厚子(理研)(30分)

17:10-18:20

「女性研究者の現状と‘機会均等’」

前田 佐和子(京都女子大)(40分)

「男女共同参画」一放医研の現状と提言一

外山 比南子(放医研)(30分)

18:30 - 20:30 懇親会

2001年12月24日(月)9時30分開始

9:30-10:30「科学と多様性」

堀 裕和(山梨大)、北原和夫(ICU)

10:30-11:30「評価をめぐって(人事方式の提案)」

伊藤 厚子(理研)、坂東 昌子(愛知大)

11:30 - 11:40・・・休憩

11:40-12:10「数学教育における制度的男女差」

勝木 渥(高千穂大)(30分)

12:10-12:40「日本の女性達が自然科学者になった動機」

-- B.Chezzi の調査(1992)より --

八木 江里(東洋大)(30分)

12:40 - 13:40 昼食

13:40 - 15:00(司会:伊藤)

今後の方針について